

CONTENTS

COMBAT

2016.Jun.
No.483

6

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
PLATOON MAGAZINE / Hiro Soga
©WORLD PHOTO PRESS 2016

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



008	【第1特集／スナイパー】 仕事人の肖像 スナイパー THE SNIPER
010	Talking about the "SNIPER"
012	プロ戦士の技を知る SNIPER'S TECHNIQUE
028	スナイパーライフルの新定番 GA Precision "Hospitaler" Caliber .338 Lapua Magnum
036	イラストでつづる 狙撃手列伝
038	日本の狙撃手
042	GROMにおけるスナイパー
046	THE CLONE "Camouflaged Wargame Fighter"
052	Hot Springs 光線銃
054	ギリースーツ&銃カモフラ塗装 できるかな?
060	俺たちの1本 ~三等兵、スナイパー映画を語る~
062	スナイパーライフル・カタログ
068	【第2特集／ガン&ミリタリー】 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ] 特殊部隊・狙撃手装備特集 ●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学
078	ShotShow2016 Shooting Demonstration ●Photos&Text by Tomo Hasegawa
096	NEW GENERATION STYLER ●fujiwara
117	Militaria Roundup! 復刻版WWIIドイツ軍レーションと日用品 ●解説:菊月俊之
146	自衛隊の力こぶ フォレストライト ●取材:菊池雅之
150	COBRA GOLD 16
154	米韓合同演習「双龍訓練」
156	韓国13th Special
158	RATS出動!! 埼玉県警警備部機動隊 銃器対策部隊公開訓練 ●Photos&Text by Tomo Hasegawa



089	【第3特集／トイガン】 TANAKA WORKS S&W M500 8 3/8inch Ver.2 STAINLESSMODEL ●Photos & Text by SHOTGUN MARCY
092	速報!! WESTERN ARMS 「世田谷ベース・モデル第6弾!!」 1056 BUNTLINE SPECIAL ●Photos & Text by SHOTGUN MARCY
004	COMBAT FRONT LINE
088	ミリいじ技研
108	トイガンニュース 108 東京マルイ M4バトリオットHC 110 WA プロダクション・シリーズ 113 タナカ コルト・バイソン3インチ "Rモデル"《ニッケル・モデル》 114 タナカ S&W M360J 《サクラ》 115 S&W M&P360 《.357マグナム》 116 マルゼン ワルサー P99プロ・バック ブラック
128	PRESENT
164	PROJECT NINJA ●morizo(東京装備BAKA)
166	走って撃って楽しんで サバゲ放浪記 ゆい散歩 其の18 群馬編 ●取材:上矢ゆい
170	兵装嗜癖 ●by fujiwara
172	サバゲ三等兵 ●by 織本知之
210	編集部お薦めのタクティカルギア大図鑑 Tasmanian Tiger Combat Pack MK2(22L)
212	Goods & Accessory
216	中田商店グッズ
218	S&Grafグッズ
129	GAME OVER THE TOP
132	USショーティングライフ! ●鮫島宗貴
134	ミリタリー工房 COVO オープン!
135	オールニッポンナイフショー2016
136	東京フォールディングナイフショー
137	2016 JCKM/JKG鍛造ナイフ部会合同カスタムナイフショー
138	読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ
140	トイガンズ・ジャンクション
188	装備エンスー道 ●福田真夫
189	ビクトリーショー
193	バックナンバーリスト
194	ミリタリー・コレクション
196	レア・ミリタリー・コレクション
198	A STITCH IN TIME
199	『バイオハザード』生誕20周年記念 東京マルイ完全限定エアソフトガン発売決定!
200	狩野健一郎のシネマ放浪記
201	狩野健一郎の新作DVD紹介
202	蛙のゆびさき
204	戦車兵通信 WORLD OF TANKS
206	コンバットマガジン・インフォメーション・センター
207	読者プレゼント応募方法
208	編集後記



特
集

仕事人の肖像 スナイパー

THE SNIPER

情報収集から砲弾射撃の指示まで、現代におけるスナイパーの役割は実に幅広い。その万能さはもちろん畏敬に価する。しかし、やはり我々は、彼らの持つ「孤高」のイメージ。すなわち「ひたすらに耐えて、一撃にすべてをかける」その姿に今も変わらず痺れてしまうように思えてならない。今回は、彼らの実像から、実際にフィールドで使える技術やギアまで「スナイパー」について、深彫りしてみた。

値千人の実力

「スナイパーにはもっとも劣る隊員が回される……」

という人がいて、啞然としてしまう事がある。

スナイパーには静的な印象があるからだろうか。強襲部隊のような爆破や烈しい銃撃戦とは無縁で「寝転がっているだけだから誰でもできる」という、あまりに一方的な見解から誤解が生じてしまったようだ。

スナイパー⇒狙撃手。

その存在は広く知られている。アクション映画やTV番組にもスナイパーを扱った題材が多い。しかしミステリアスな印象ばかりが強調されてしまっているように思える。現実のスナイパーからはかけ離れた脚色で描かれている場合が多いのだ。スナイパーの実態が明らかでないだけに真の姿が掴みにくい。現実的な部分が多く語られていない事に気づかされる。

今まで取材などで、陸海空そしてマリーンというUSミリタリーの各部署、さらにFBIや各地のポリスデパートメント、シェリフなど各司法機関の SWAT に所属するスナイパー

プロ戦士の技を知る

SNIPER'S TECHNIQUE

スナイパーズ
テクニク

“ワンショット・ワンキル”

一撃必殺を遂行するスナイパー。“値千人の兵士”と恐れられるプロフェッショナル戦士。神出鬼没の行動力と高精度の射撃力。存在は知られているものの、その実態はあまり公開されていない。そんなスナイパーの実像に迫る!

Text & Photos:長谷川朋之

特集
仕事人の肖像
スナイパー

THE
SNIPER

スナイパーライフルの新定番

GA Precision

“Hospitaler”
Caliber .338
Lapua Magnum

スナイパーライフル。以前は、.308Winのボルトアクションライフルに10倍ほどの光学スコープというのが定番だった。しかし、中東戦争以降はセミオートライフルは勿論のこと、その使用される口径たるや、それこそ百花繚乱の様相を見せている。そんな中、対物ライフルとして開発された.50BMGを別格とすると、ロングディスタンス(長距離)用として定着してきているのが“.338ラブアマグナム”だ。



特集 仕事人の肖像
スナイパー

THE SNIPER



ギリースーツ & 銃カモフラ塗装 できるかな？

オレ見える？

フィールドに出ればヒットされまくりの我ら三等兵。通常ならばとうに心が折れてもいいはずなのに、意気だけは軒昂そのもの。「サバイバルゲームでスナイパーになってみたい絶対に見つからない無双な感じの！」駄々っ子もかくやとばかりな無茶な要求に、静かな笑いとともに応じてくれた匠たちが、ひとり、ふたり…。チームの手先の器用さとセンスの良さを持ち合わせるシェフ狩野が、立ち上がった！

スナイパーといえば 緑のムックみたいな 格好してますけど…

最早ホームフィールドといった感のある千葉県は君津市にあるPARADOXさん。その広大なフィールドで、我らサバゲ三等兵がデビューを果たしてから早くも5ヵ月が経った。以降今日迄にサバゲをしたのはやはり同所でのたった一回で、後は装備の買い物——これはまだ納得がいくが——に、先に誤記ではない事を断っておくが「忘年会」をただけだ。これではサバゲが上手くなるはずがない。そもそも我が隊の戦力を改めて見直せば、唯一「戦力」に数えられる人物は、千葉県の在で本企画が始まる以前からPARADOXさんに通うサバゲ経験者の広報織本一人。千葉隊長は「隊長」とは名ばかりで今一サバゲに熱が入らないし、服部編集長はさすが「編集の長」だけあって、度胸と経済力、そして豊富なコネこそ認めるが、手にするショットガンはやたら長く重く、おまけにフォアエンドをしごく度に「ジャキン！」と大きな音がする——これをゲームの直前に背後でやられると処刑されるのかと思う——ので、殊に森林フィールドではな～んか違う気がする。そして私といえば撃たれるのが怖く、屁っ放り腰で全く前に出ない。故にサバゲ三等兵は今、猛烈に弱い……。そんな自分たちの弱さに背を向けて、ささくれだっていく心に。遂にはサバゲ時の昼飯の牛丼の量が多いの少ないので、頬にお弁当をつけた千葉隊長の胸ぐらに私が掴み掛かる！ その時だ！



突如我々の目の前にあのサバゲの妖精サバゲリラがどろんと現われて、こう言ったのだ。「君らの内の誰か一人がスナイパーになっちまえばいいっべよ！」。その言葉に始めこそキョトンとしていた我々だったが、徐々に口を開き始め「サバゲリラって訛ってるんですね♪」(千葉) —結果不合格、「あー、『スターリンググレード』観たけど途中で寝ちゃったなー」(服部) —結果不合格、「スナイパーといえば緑のムックみたいな格好してますけど、あれなんすか？」(筆者)。「いいね。君、合格！ あれはギリースーツって言ってね、なんと自分で作れるんだっべよ！」……そんなやりとりが実際あったりなかったりして今回私に白羽の矢が立ち、スナイパーへの転向(?)に先行する形で、まず「ギリースーツ作り」と「ライフルのカモフラ塗装」という任務が課せられたのであった。ここでギリースーツについて少し説明しておく。「ギリースーツ (Ghillie suit)」の名称は、スコットランドの狩猟ガイド=ghillie (Ghillie) が考案した事にちなむ。その目的は、人の形を曖昧にすることで景色に溶け込み、より獲物に近づき易くする為だった。現代のスナイパーが着用するギリースーツもその目的は変わらない。変わったのは獲物の鴨や鹿が、排除したい人間や時には兵器になっただけである。ライフルの銃身やスコープに巻き付ける麻布もライフルの形を曖昧にする為のものだ。そんな「偽装」がDIYで出来るとは俄に信じ難いかも知れないが、そんなことはない、この私にも出来たのである。いよいよ次頁からはその奮闘の様をお贈りする。最後にこの場を借りて、ギリースーツ作りとカモフラ塗装をそれぞれご教授して頂いた横田さんとTakuさん、塗装のロケで今回もお世話になったPARADOXさん、そして塗装用のVSR-10 プロスナイパーバージョンをご提供頂いたホビーショップ フロンティアさんに心よりお礼を申し上げます。 [C]



ラスベガス郊外の砂漠に設けられた
広大な“ボールドーシティ”射撃場。
ピストルレンジにライフルレンジが40数個の射撃場、
さらに警察&特殊部隊訓練用の射撃場までもある。
とにかく巨大!
ここで大規模な試射会が開催される。
それが「メディアデイ シュート」だ。

ボールドーシティ・ピストルライフルレンジ。広
大な敷地に大きな射撃場が連続し、多数のテント
が並ぶ。この規模が大きく4カ所にある。

MEDIA DAY AT RANGE

SHOOTING DEMO

SHOT SHOW 2016

Photos & Text by Tomo Hasegawa